

寺報

令和元年十一月
第八十四号

正念寺護持会発行

常陸太田市久米町二十一
電話〇二一九四一七六一〇五八
FAX〇二一九四一七六一〇一六九

台風十九号の被害を見て



県道62号線から新地町方面



県道62号線から新地町・松栄町方面

やられた家をやつと再建したところへの今回の洪水、というご家庭もあると聞きました。
私たちは、この様な災害に遭った時、どうすれば良いのか？また何が出来るのか？災害の多い日本列島に住んでいる私たちだからこそ普段から考えておくことが必要なのかも知れません。

今回は、十二日午前から避難指示が出ておりました。そして十三日午前三時半位と聞いていますが、久慈川の堤防が出来ていない部分から越水して周りの堤防を崩して大きな洪水になつたと聞かれました。

今回の被害では、ご門徒の中からお亡くなりになつた方は幸いなことにいらっしゃいませんでした。しかし、他のところでは残念ながらお亡くなりになつた方もいらっしゃいます。命は失えば二度と戻らないという事を改めて肝に銘じたいことでございます。

現在、正念寺で避難する方を受け入れるとすると、本堂と庫裏を使つても



県道61号線から松栄町方面

までの案内状の配布が遅れることもあり、その為、報恩講の案内にそのことが書いてないとお世話人の方から指摘も受けたことはございますが、再印刷をかけると十日ほど案内状の配布が遅れることもあり、そのことでお叱りを受けるのであれば、真摯に反省させて戴きたく存じます。

さて、今回の久慈川決壊の被害ですが、正念寺のご門徒の方々の被害は、新地町・松栄町・花房町に及びました。現在把握しているところでは、床下浸水が六軒、床上浸水が五十六軒になります。副住職が時間がある時にボランティアで入っておりますが、話を聞くに連れ。被害の大きさに驚愕するばかりです。先の東日本大震災で

参れ～寺カード十ポイント達成報告

参れ～寺カード

の十ポイント達成
者が誕生しました。

八月の歓喜会法要
時点で達成された

方がお二人。井坂
ヨシエ様と箕川八

重子様です。その
後、十月の聞法会

の折りに達成され

た方が小薗俊秀様です。正念寺の法要や行
事、聞法会への参加や、奉仕作業や各地で
行われているお取り越し等でポイントが貯
まります。是非、沢山の方に記念品をお渡
しできることを期待しております。



お寺でライブ？ 第四回



次回の「お寺でライブ？」は、花祭りコンサートを四月五日（日）に正念寺本堂において行う予定です。花祭りコンサートとしては二回目になりますが、コンサート自体は三回目になります。毎回満堂になつております、主催している側としては嬉しい限りです。次回のコンサートもどうぞ楽しみにしてお待ち下さい。

募集締切は、二月一杯

終わった後に、みんなで食事をして解散します。



日 時 三月十三日（金曜）午前九時 正念寺集合
場 所 大方運動広場
参 加 費 一千円

グラウンドゴルフ正念寺杯 第三回案内

来年も「グラウンドゴルフ 正念寺杯」を行います。今年も、沢山の方々のご参加をお待ちしております。

日 時 六月二十三日（火）～二十四日（水）
参 加 費 三万円程度
募 集 人 員 二十名

来年の寺院巡りは、お釈迦様のお骨（仏舍利と言います）をミャンマーの寺院から送られた「仏照寺」様にお参りさせて頂く予定です。まだ旅行社との打合せもしておりますので、今後変更もあるかと思いますが、仏照寺様の他数ヶ寺参拝しながら、温泉で身体を休めつつ楽しい旅行にしたいと存じます。

寺院巡り旅行のご案内

絵手紙紹介

常陸太田市大方町の井坂順子様の素敵なお絵手紙を三点ほど紹介させて頂きます。



これから行事予定

今後の正念寺の行事をご連絡いたします。

十二月三十一日(火) 除夜会(二十三時三十より)

令和二年

一月 一日(水)

修正会(除夜絵に引き続き、0時より)

一月 七日(火)

お世話人様・総代様新年会

一月 八日(水)

聞法会新年会

三月 八日(日)

永代経法要

三月十三日(金)

グラウンドゴルフ

なお、毎月八日は聞法会を行つておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



感謝録

ご寄付を戴きました事に感謝を込めてご報告させて戴きます。

一、妻の永代経として

金 壱拾五万円

荻津 軍司様

今年も沢山のお仏供米をご奉納戴きました。
ここに謹んでご報告させて頂きます。

十一月五日現在

常陸大宮市

坪井 誠様

片岡 小澤 喜一様
萩野谷 定之様
箕川 峻様

ご奉納戴きましたお仏供米は大切に使わせて
頂きます。

その他、報恩講法要や永代経法要に際し、ま
た常日頃から農業をされている方々から、い
ろいろな野菜などのご奉納も戴いております。
ここにご報告と感謝を申し上げます。

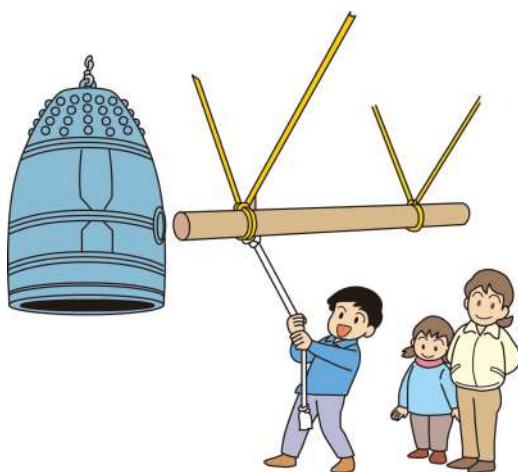
台風十九号の被害は、新地町・松栄町・花
房町に大きな被害をもたらしました。私が地
元に戻ってから四十年近くが経ちますが、東
日本大震災も含め河川からの洪水被害など、
何度かの大きな災害を経験しました。

地球温暖化の影響などもあり、これからも
こういった災害から逃れることは出来ないの
かも知れません。

かといって、グレタさんの言うような極端
な夢物語に賛同する気持ちも正直起っこりませ
ん。彼女は確かにスウェーデンからアメリカ
までヨットで行きました。しかし、ヨットの
船長やクルーは、飛行機で母国に帰つております。彼女がヨットで母国に帰るには、船長
やクルーにまた飛行機でアメリカまで來ても
らわなくてはなりません。この矛盾は、若者
にありがちな正義感だけが先走りして現実が
見えていないだけなのかも知れません。

夢を語ることは大事なことだと思います。
こういうことが出来たら、と言う夢があつて
様々なものが発達、実現してきたと言えるで
しょう。しかし、その夢は一足飛びに出来上
がるものでもありません。夢に向かって一つ
一つ課題をクリアして、初めて夢が現実にな
るのではないでしようか。その時広がる未来
に思いを馳せることは大事だと思いますが。

住職雜感



那珂市

會澤 淺川 横村
一洋様 宏様 泉様

常陸太田市
井坂 井坂 井坂 井坂 井坂
孝一様 哲也様 照雄様 友之様 豊子様
仲村 関村 小蘭 小蘭 小蘭
義信様 守様 光晴様 浩文様 達雄様 篤様